

## 論点整理ペーパー及び農薬専門調査会体制

(平成 26 年 4 月農薬専門調査会決定)

頁

農薬専門調査会体制（平成 26 年 4 月農薬専門調査会決定） .....	1
---------------------------------------	---

## 【参考】

(部会で ADI 等が決定し幹事会へ報告する農薬)

イソキサフルトール .....	2
ジエトフェンカルブ .....	3
テプラロキシジム .....	6
トリアファモン.....	9

# 農薬専門調査会体制(平成26年4月農薬専門調査会決定) (平成27年3月最終改訂)

## 幹事会

農薬専門調査会座長、各部会座長、各部会座長代理、座長が指名した者

### 幹事会

西川 秋佳 《座長》	
納屋 聖人 《副座長》	
赤池 昭紀	長野 嘉介
浅野 哲	林 真
上路 雅子	本間 正充
小澤 正吾	松本 清司
三枝 順三	與語 靖洋
代田 眞理子	吉田 緑
永田 清	

審議結果を幹事会に報告

### 評価第一部会

- 篠原 厚子  
(清泉女子大教授・動物代謝)
- 平塚 明  
(東京薬科大教授・動物代謝)
- 山崎 浩史  
(昭和薬科大教授・動物代謝)
- 上路 雅子 《座長》  
(日植防理事長・植物代謝)
- 清家 伸康  
(農環研主任研究員・植物代謝)
- 相磯 成敏  
(バイオアッセイ研部長・毒性)
- 赤池 昭紀 《副座長》  
(名古屋大教授・神経毒性)
- 浅野 哲  
(国際医療福祉大学教授・毒性)
- 藤本 成明  
(広島大准教授・毒性)
- 福井 義浩  
(徳島大教授・生殖)
- 堀本 政夫  
(千葉科学大教授・生殖)
- 林 真  
(安評センター理事長・遺伝毒性)
- 若栗 忍  
(秦野研研究員補・遺伝毒性)

### 評価第二部会

- 小澤 正吾  
(岩手医科大教授・動物代謝)
- 杉原 数美  
(広島国際大教授・動物代謝)
- 細川 正清  
(千葉科学大部長・動物代謝)
- 腰岡 政二  
(日本大教授・植物代謝)
- 吉田 充  
(日本獣医生命科学大教授・植物代謝)
- 川口 博明  
(鹿児島大准教授・毒性)
- 佐藤 洋  
(岩手大特任教授・毒性)
- 松本 清司 《副座長》  
(信州大教授・毒性)
- 吉田 緑 《座長》  
(国衛研室長・毒性)
- 桑形 麻樹子  
(秦野研室長・生殖)
- 山本 雅子  
(麻布大学教授・生殖)
- 根岸 友恵  
(岡山大准教授・遺伝毒性)
- 本間 正充  
(国衛研部長・遺伝毒性)

### 評価第三部会

- 中島 美紀  
(金沢大教授・動物代謝)
- 永田 清  
(東北薬科大教授・動物代謝)
- 田村 廣人  
(名城大教授・植物代謝)
- 中山 真義  
(農研機構研究領域長・植物代謝)
- 小野 敦  
(国衛研主任研究官・毒性)
- 三枝 順三 《座長》  
(日本実験動物学会事務局長・毒性)
- 高木 篤也  
(国衛研室長・毒性)
- 義澤 克彦  
(関西医科大講師・毒性)
- 納屋 聖人 《副座長》  
(元安評センター・生殖)
- 八田 稔久  
(金沢医科大教授・生殖)
- 太田 敏博  
(東京薬科大教授・遺伝毒性)
- 増村 健一  
(国衛研室長・遺伝毒性)

### 評価第四部会

- 加藤 美紀  
(名城大准教授・動物代謝)
- 玉井 郁巳  
(金沢大教授・動物代謝)
- 本多 一郎  
(前橋工科大教授・植物代謝)
- 與語 靖洋  
(農環研研究コーディネータ・植物代謝)
- 井上 薫  
(国衛研主任研究官・毒性)
- 長野 嘉介 《副座長》  
(長野毒性病理コンサルティング(元バイオアッセイ研副所長)・毒性)
- 西川 秋佳 《座長》  
(国衛研安全性研究センター長・毒性)
- 山手 丈至  
(大阪府立大教授・毒性)
- 代田 眞理子  
(麻布大教授・生殖)
- 中塚 敏夫  
(JST主任調査員・生殖)
- 佐々木 有  
(八戸高専教授・遺伝毒性)
- 森田 健  
(国衛研室長・遺伝毒性)

## イソキサフルトール（第2版）

諮問理由	化学構造	作用機序	用途	評価資料
インポート トレランス 申請	イソオキサゾール系	4-HPPD 阻害	除草剤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インポートトレランス概要書</li> <li>・試験報告書</li> </ul>

### 【試験成績の概要】

1. 動物体内運命試験の結果、イソキサフルトールは投与後 0.52～1.03 時間で  $C_{max}$  に達し、血中  $T_{1/2}$  は、約 60 時間であった。イソキサフルトールの吸収率は、低用量単回投与群、低用量反復投与群及び高用量投与群でそれぞれ、少なくとも 68.8、72.8 及び 32.9% であった。低用量単回又は反復投与群では主に尿中、高用量単回投与群では主に糞中に排泄された。尿及び糞中の主要代謝物は B で、ほかに代謝物 C、D、E 及び F が認められた。
2. 畜産動物（ヤギ及びニワトリ）を用いた動物体内運命試験の結果、主要代謝物は B で、ほかに代謝物 D 及び E が 10%TRR を超えて認められた。
3. 植物体内運命試験の結果、可食部における主要代謝物は B 及び C で、10%TRR を超えて認められた。
4. 作物残留試験（海外）の結果、イソキサフルトール及び代謝物 B の含量の最大残留値はだいた（種子）の 0.032 mg/kg であった。
5. 畜産物残留試験の結果、泌乳牛及び産卵鶏では未変化のイソキサフルトールは認められず、泌乳牛においては代謝物 B、D 及び E がいずれも肝臓において最大 1.84、0.810 及び 0.068  $\mu\text{g/g}$  認められ、産卵鶏においては代謝物 B が肝臓において最大 0.645  $\mu\text{g/g}$  認められた。
6. 各種毒性試験結果から、イソキサフルトール投与による影響は、主に眼（角膜混濁等）及び肝臓（肝細胞肥大等）に認められた。神経毒性、繁殖能に対する影響、催奇形性、発達神経毒性、免疫毒性及び遺伝毒性は認められなかった。
7. 発がん性試験において、ラット及びマウスの雌雄で肝細胞腫瘍、ラットの雄で甲状腺ろ胞腺腫の発生頻度の増加が認められたが、発生機序は遺伝毒性メカニズムとは考え難く、評価に当たり閾値を設定することは可能であると考えられた。

## ジエトフェンカルブ

諮問理由	化学構造	作用機序	用途	評価資料
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 暫定基準</li> <li>・ 適用拡大</li> </ul>	Nフェニル カーバメー ト系	紡錘糸に結合し、細胞 分裂を阻害	殺菌剤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農薬抄録</li> <li>・ 海外資料 (EU)</li> </ul>

### 【試験成績の概要】

1. 投与後 168 時間の吸収率は、少なくとも 82.7%であった。ジエトフェンカルブは投与後速やかに排泄され、投与後 24 時間の尿及び糞への排泄率は、低用量単回経口投与群で 92.2~94.5%、高用量単回投与群で 82.0~84.4%、反復投与群で 90.4~91.2%であり、主に尿中に排泄された。尿中の主要成分は代謝物[B]の硫酸抱合体であり、そのほか代謝物[B]、[B]のグルクロン酸抱合体、[C]、[D]、[Q]、[R]並びに[C]、[D]、[Q]、[R]、[S]、[T]、[U]及び[V]の硫酸抱合体又はグルクロン酸抱合体が認められた。
2. 植物体内運命試験の結果、可食部における主要成分は未変化のジエトフェンカルブであり、代謝物として、[M]及び[P]が 10%TRR 以上認められた。
3. ジエトフェンカルブ投与による影響は、主に体重（増加抑制）及び肝臓（重量増加、小葉中心性肝細胞肥大等）に認められた。神経毒性、繁殖能に対する影響、催奇形性、免疫毒性及び遺伝毒性は認められなかった。
4. ラットを用いた 2 年間慢性毒性/発がん性併合試験において、雄で甲状腺ろ胞細胞腺癌、雌で甲状腺ろ胞細胞腺腫、雌雄で甲状腺ろ胞細胞腺腫及び腺癌の合計の発生頻度に有意な増加が認められたが、その発生機序は遺伝毒性メカニズムによるものとは考え難く、評価に当たり閾値を設定することは可能であると考えられた。

# ジエトフェンカルブ (DIETHOFENCARB)

残留基準値	参考基準国	残留基準	登録保留基準	Codex	米	豪州	加国	EU	NZ	類型	残留基準値	参考基準国	残留基準	登録保留基準	Codex	米	豪州	加国	EU	NZ	類型	
<b>農産物に係る基準値</b>																						
米(玄米)											みかん	5	現行	5								
											なつみかん											
											なつみかんの外果皮											
小麦											なつみかんの果実全体	5	現行	5								
大麦											レモン	5	現行	5								
ライ麦											オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	5	現行	5								
とうもろこし											グレープフルーツ	5	現行	5								
そば											ライム	5	現行	5								
その他の穀類											その他のかんきつ類果実	5	現行	5								
大豆	0.1	現行	0.1								りんご	5	現行	5								
小豆類	0.1	現行	0.1								日本なし	5	現行	5								
えんどう	0.1	現行	0.1								西洋なし	5	現行	5								
そら豆	0.1	現行	0.1								マルメロ	5	現行	5								
らっかせい	0.1	現行	0.1								びわ	5	現行	5								
その他の豆類	0.1	現行	0.1								もも	5	現行	5								
ばれいしょ											ネクタリン	5	現行	5								
さといも類(やつがしらを含む。)											あんず(アブリコットを含む。)	5	現行	5								
かんしょ											すもも(プルーンを含む。)	5	現行	5								
やまいも(長いもをいう。)											うめ	5	現行	5								
こんにやくいも											おうとう(チェリーを含む。)	5	現行	5								
その他のいも類											いちご	5	現行	5								
てんさい											ラズベリー	5	現行	5								
さとうきび											ブラックベリー	5	現行	5								
だいこん類(ラディッシュを含む。)	5	現行	5								ブルーベリー	5	現行	5								
だいこん類(ラディッシュを含む。)	5	現行	5								クランベリー	5	現行	5								
かぶ類の根	5	現行	5								ハuckleベリー	5	現行	5								
かぶ類の葉	5	現行	5								その他のベリー類果実	5	現行	5								
西洋わさび	5	現行	5								ぶどう	5	現行	5								
クレソン	5	現行	5								かき	5	現行	5								
はくさい	5	現行	5								バナナ	5	現行	5								
キャベツ	5	現行	5								キウイ	5	現行	5								
芽キャベツ	5	現行	5								パパイヤ	5	現行	5								
ケール	5	現行	5								アボカド	5	現行	5								
こまつな	5	現行	5								ハイナッブル	5	現行	5								
きょうな	5	現行	5								グアバ	5	現行	5								
デングンサイ	5	独立	5								マンゴ	5	現行	5								
カリフラワー	5	現行	5								パッションフルーツ	5	現行	5								
ブロッコリー	5	現行	5								なつめやし	5	現行	5								
その他のあぶらな科野菜	5	現行	5								その他の果実	5	現行	5								
ごぼう	5	現行	5								ひまわりの種子	5	現行	5								
サルシフィー	5	現行	5								ごまの種子	5	現行	5								
アーティチョーク	5	現行	5								べにばなの種子	5	現行	5								
チコリ	5	現行	5								綿実	5	現行	5								
エンダイブ	5	現行	5								なたね	5	現行	5								
しゅんぎく	5	現行	5								その他のオイルシード	5	現行	5								
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)	5	現行	5								ぎんなん	5	現行	5								
その他のきく科野菜	5	現行	5								くり	5	現行	5								
たまねぎ	5	現行	5								ペカン	5	現行	5								
ねぎ(リーキを含む。)	5	現行	5								アーモンド	5	現行	5								
にんにく	5	現行	5								くるみ	5	現行	5								
にら	5	独立	5								その他のナッツ類	5	現行	5								
アスパラガス	5	現行	5								茶											
わけぎ	5	現行	5								コーヒード											
その他のゆり科野菜	5	現行	5								カカオ豆											
にんじん	5	現行	5								ホップ											
パースニップ	5	現行	5								その他のスパイス	5	独立									
パセリ	5	現行	5								その他のハーブ	5	独立									
セロリ	5	現行	5																			
みつば	5	現行	5																			
その他のせり科野菜	5	現行	5																			
トマト	5	現行	5																			
ピーマン	5	現行	5																			
なす	5	現行	5																			
その他のなす科野菜	5	現行	5																			
きゅうり(ガーキンを含む。)	5	現行	5																			
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	5	現行	5																			
しろうり	5	現行	5																			
すいか	5	現行	5																			
メロン類果実	5	現行	5																			
まくわうり	5	現行	5																			
その他のうり科野菜	5	現行	5																			
ほうれんそう	5	現行	5																			
たけのこ	5	独立	5																			
オクラ	5	現行	5																			
しょうが	5	現行	5																			
未成熟えんどう	5	現行	5																			
未成熟いんげん	5	現行	5																			
えだまめ	5	現行	5																			
マッシュルーム	5	現行	5																			
しいたけ	5	現行	5																			
その他のきのこ類	5	現行	5																			
その他の野菜	5	現行	5																			



## テブラロキシジム

諮問理由	化学構造	作用機序	用途	評価資料
・ 暫定基準	シクロヘキサ ンジオン骨格	脂肪酸生合成に関 与するアセチル CoA カルボキシラ ーゼを阻害	除草剤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農薬抄録</li> <li>・ 米国 EPA</li> <li>・ 豪州 APVM</li> </ul>

### 【試験成績の概要】

1. 動物体内運命試験の結果、経口投与されたテブラロキシジムの低用量投与 120 時間後の吸収率は少なくとも 69.5%であり、尿及び糞中に 90.8～99.9%TAR が排泄された。主に尿中に排泄された。尿中の主要代謝物は代謝物[20]で、ほかに代謝物[2]、[21]、[22]、[28]、テブラロキシジムのグルクロン酸抱合体等が認められた。
2. 畜産動物を用いた動物体内運命試験の結果、10%TRR を超えて検出された代謝物はヤギで代謝物[1]、 [20]、[34]及びテブラロキシジムのグルクロン酸抱合体、ニワトリでは代謝物[2]、[5]、[21]、[23]及び[28]であった。
3. 植物体内運命試験の結果、10%TRR を超える代謝物は[8]、[13]、 [14]及び[16]であった。
4. 作物残留試験の結果、テブラロキシジムの最大残留値はえだまめ（さや）の 0.11 mg/kg、テブラロキシジム+代謝物[16]の最大残留値はだいず（乾燥子実）の 0.24 mg/kg、代謝物[13]の最大残留値はだいず（乾燥子実）の 0.23 mg/kg であった。
5. テブラロキシジム関連化合物、代謝物[13]関連化合物及び代謝物[20]関連化合物を分析対象とした畜産物残留試験の結果、最大残留値はそれぞれ乳牛では腎臓の 0.060、0.203 及び 0.067 µg/g、産卵鶏では肝臓の 1.65、1.11 及び 0.178 µg/g であった。
6. 各種毒性試験結果から、テブラロキシジム投与による影響は、主に体重（増加抑制）、肝臓（小葉中心性肝細胞肥大等）、甲状腺（重量増加等：イヌ）、精巣（精細管萎縮等：イヌ）及び泌尿器系（膀胱上皮過形成等：イヌ）に認められた。
7. 神経毒性、繁殖能に対する影響及び生体において問題となる遺伝毒性は認められなかった。
8. 発がん性試験において、ラット及びマウスの雌で、肝細胞腺腫及び肝細胞癌の合計の発生頻度の増加が認められたが、腫瘍の発生機序は遺伝毒性によるものとは考え難く、評価に当たり閾値を設定することは可能であると考えられた。
9. ラットを用いた発生毒性試験において、母動物に毒性影響がみられる用量で、外表奇形（索状尾等）が認められた。ウサギでは催奇形性は認められなかった。

# テプラロキシジム (TEPRALOXYDIM)

残留基準値	参考基準国	残留基準	登録保留基準	Codex	米	豪州	加国	EU	NZ	類型	残留基準値	参考基準国	残留基準	登録保留基準	Codex	米	豪州	加国	EU	NZ	類型	
<b>農産物に係る基準値</b>																						
米(玄米)	0.05	その他								6-4	0.05	その他									6-4	
小麦	0.05	その他								6-4	0.05	その他										6-4
大麦	0.05	その他								6-4	0.05	その他										6-4
ライ麦	0.05	その他								6-4	0.05	その他										6-4
とうもろこし	0.05	その他								6-4	0.05	その他										6-4
そば	0.05	その他								6-4	0.05	その他										6-4
その他の穀類	0.05	その他								6-4	0.05	その他										6-4
大豆	6	現行	6								0.05	その他										6-4
小豆類	0.2	現行	0.2								0.05	その他										6-4
えんどう	0.2	登録	0.2			0.1				3-1	0.05	その他										6-4
そら豆	0.2	登録	0.2			0.1				3-1	0.05	その他										6-4
らっかせい	0.2	登録	0.2							4	0.05	その他										6-4
その他の豆類	0.2	登録	0.2			0.1				3-1	0.05	その他										6-4
ばれいしょ	0.2	登録	0.2							4	0.05	その他										6-4
さといも類(やつがしらを含む。)	0.2	登録	0.2							4	0.05	その他										6-4
かんしょ	0.2	登録	0.2							4	0.05	その他										6-4
やまいも(長いもをいう。)	0.2	現行	0.2							4	0.05	その他										6-4
こんにゃくいも	0.2	登録	0.2							4	0.05	その他										6-4
その他のいも類	0.2	登録	0.2							4	0.05	その他										6-4
てんさい	0.2	現行	0.2								0.05	その他										6-4
さとうきび	0.05	その他								6-4	0.05	その他										6-4
だいこん類(ラディッシュを含む。)	0.2	登録	0.2							4	0.05	その他										6-4
だいこん類(ラディッシュを含む。)	0.05	その他								6-4	0.05	その他										6-4
かぶ類の根	0.2	登録	0.2							4	0.05	その他										6-4
かぶ類の葉	0.05	その他								6-4	0.05	その他										6-4
西洋わさび	0.2	登録	0.2							4	0.05	その他										6-4
クレソン	0.05	その他								6-4	0.05	その他										6-4
はくさい	0.05	その他								6-4	0.05	その他										6-4
キャベツ	0.05	その他								6-4	0.05	その他										6-4
芽キャベツ	0.05	その他								6-4	0.05	その他										6-4
ケール	0.05	その他								6-4	0.05	その他										6-4
こまつな	0.05	その他								6-4	0.05	その他										6-4
きょうな	0.05	その他								6-4	0.05	その他										6-4
チンゲンサイ	0.05	その他								6-4	0.05	その他										6-4
カリフラワー	0.05	その他								6-4	0.05	その他										6-4
ブロッコリー	0.05	その他								6-4	0.05	その他										6-4
その他のあぶらな科野菜	0.2	登録	0.2							4	0.05	その他										6-4
ごぼう	0.2	登録	0.2							4	0.05	その他										6-4
サルシフィー	0.2	登録	0.2							4	0.05	その他										6-4
アーティチョーク	0.05	その他								6-4	0.05	その他										6-4
チョリ	0.05	その他								6-4	0.05	その他										6-4
エンダイブ	0.05	その他								6-4	0.05	その他										6-4
しゅんぎく	0.05	その他								6-4	0.2	現行	0.2									6-4
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)	0.05	その他								6-4	0.5	現行	0.5									6-4
その他のきく科野菜	0.2	登録	0.2							4	0.05	その他										6-4
たまねぎ	0.5	現行	0.5								0.05	その他										6-4
ねぎ(リーキを含む。)	0.05	その他								6-4	0.05	その他										6-4
にんにく	0.5	登録	0.5							4	0.05	その他										6-4
にら	0.05	その他								6-4	0.05	その他										6-4
アスパラガス	0.05	その他								6-4	0.05	その他										6-4
わけぎ	0.05	その他								6-4	0.05	その他										6-4
その他のゆり科野菜	0.5	登録	0.5							4	0.05	その他										6-4
にんじん	0.2	現行	0.2								0.05	その他										6-4
パースニップ	0.2	登録	0.2							4	0.05	その他										6-4
パセリ	0.05	その他								6-4	0.05	その他										6-4
セロリ	0.05	その他								6-4	0.05	その他										6-4
みつば	0.05	その他								6-4	1	独立										6-4
その他のせり科野菜	0.2	登録	0.2							4	1	独立										6-4
トマト	0.05	その他								6-4	0.05	その他										6-4
ピーマン	0.05	その他								6-4	0.05	その他										6-4
なす	0.05	その他								6-4	0.05	その他										6-4
その他のなす科野菜	0.05	その他								6-4	0.05	その他										6-4
きゅうり(ガーキンを含む。)	0.05	その他								6-4	0.05	その他										6-4
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.05	その他								6-4	0.05	その他										6-4
しろうり	0.05	その他								6-4	0.05	その他										6-4
すいか	0.05	その他								6-4	0.05	その他										6-4
メロン類果実	0.05	その他								6-4	0.05	その他										6-4
まくわうり	0.05	その他								6-4	0.05	その他										6-4
その他のうり科野菜	0.05	その他								6-4	0.05	その他										6-4
ほうれんそう	0.05	その他								6-4	0.05	その他										6-4
たけのこ	0.2	登録	0.2							4	0.05	その他										6-4
オクラ	0.05	その他								6-4	0.05	その他										6-4
しょうが	0.2	登録	0.2							4	0.05	その他										6-4
未成熟えんどう	1	登録	1							4	0.05	その他										6-4
未成熟いんげん	1	登録	1							4	0.05	その他										6-4
えだまめ	1	現行	1								0.05	その他										6-4
マッシュルーム	0.05	その他								6-4	0.05	その他										6-4
しいたけ	0.05	その他								6-4	0.05	その他										6-4
その他のきのこ類	0.05	その他								6-4	0.05	その他										6-4
その他の野菜	1	登録	1							4	0.05	その他										6-4

# テプラロキシジム (TEPRALOXIDIM)

残留基準値	参考基準国	残留基準	登録保留基準	C o d e x	米 国	豪 州	加 国	E U	N Z	類 型	残留基準値	参考基準国	残留基準	C o d e x	類 型
畜水産物に係る基準値															
牛の筋肉	0.2	海外			0.2	0.1				5	加工食品に係る基準値				
豚の筋肉	0.2	海外			0.2	0.1			5						
その他の陸棲哺乳類の筋肉	0.2	海外			0.2	0.1			5						
牛の脂肪	0.2	海外			0.15				5	ミネラルウォーター類に係る基準値					
豚の脂肪	0.2	海外			0.15			5							
その他の陸棲哺乳類の脂肪	0.2	海外			0.15			5							
牛の肝臓	0.2	海外			0.2	0.1			5	ミネラルウォーター類に係る基準値					
豚の肝臓	0.2	海外			0.2	0.1		5							
その他の陸棲哺乳類の肝臓	0.2	海外			0.2	0.1		5							
牛の腎臓	0.3	海外			0.5	0.1			5	ミネラルウォーター類に係る基準値					
豚の腎臓	0.3	海外			0.5	0.1		5							
その他の陸棲哺乳類の腎臓	0.3	海外			0.5	0.1		5							
牛の食用部分	0.2	海外			0.2	0.1			5	ミネラルウォーター類に係る基準値					
豚の食用部分	0.2	海外			0.2	0.1		5							
その他の陸棲哺乳類の食用部分	0.2	海外			0.2	0.1		5							
乳	0.06	海外			0.1	0.02			5	ミネラルウォーター類に係る基準値					
鶏の筋肉	0.2	海外			0.2	0.1		5							
その他の家禽の筋肉	0.2	海外			0.2	0.1		5							
鶏の脂肪	0.3	海外			0.3			5	ミネラルウォーター類に係る基準値						
その他の家禽の脂肪	0.3	海外			0.3		5								
鶏の肝臓	0.6	海外			1	0.1		5	ミネラルウォーター類に係る基準値						
その他の家禽の肝臓	0.6	海外			1	0.1	5								
鶏の腎臓	0.2	海外			0.2	0.1		5	ミネラルウォーター類に係る基準値						
その他の家禽の腎臓	0.2	海外			0.2	0.1	5								
鶏の食用部分	0.2	海外			0.2	0.1		5	ミネラルウォーター類に係る基準値						
その他の家禽の食用部分	0.2	海外			0.2	0.1	5								
鶏の卵	0.2	海外			0.2	0.1		5	ミネラルウォーター類に係る基準値						
その他の家禽の卵	0.2	海外			0.2	0.1	5								
魚介類(さけ目魚類に限る。)										ミネラルウォーター類に係る基準値					
魚介類(うなぎ目魚類に限る。)															
魚介類(すずき目魚類に限る。)										ミネラルウォーター類に係る基準値					
魚介類(その他の魚類に限る。)															
魚介類(貝類に限る。)										ミネラルウォーター類に係る基準値					
魚介類(甲殻類に限る。)															
その他の魚介類										ミネラルウォーター類に係る基準値					
はちみつ															

**※留意事項※**

「残留基準値」の列(太字・黄色背景)にある数値が、現在「食品、添加物等の規格基準(昭和34年12月28日厚生省告示第370号)」において告示されている基準値である。

- ・基準値が空欄の食品については、一律基準値0.01ppmが適用される。
- ・表中の農作物、畜水産物、加工食品の名称は、告示されているものと便宜的に異なる場合がある。
- ・個別の食品がどの分類に属するかの詳細については、別途お示しすることとしているが、該当がない食品(ワカメ等の海藻類や、ワニの肉、プロボリス等のその他食品)については、一律基準値が適用される。
- ・加工食品については、当該加工食品に基準値がある場合、また当該加工食品から派生した加工食品について判断する場合、加工食品の基準が優先して適用される。
- ・なお、加工食品のうち残留基準を設定しないものについては、原則として、残留基準に適合した原材料を用いて製造され又は加工されたものであれば、流通を可能とすることとする。

・表中の残留基準値は、平成17年11月29日現在のものであり、今後随時改訂されることがあり得る。

・表中の登録保留基準値、国際基準値、海外基準値等は、原則として暫定基準等(最終案)公表時に当方が把握していたものであり、最新の情報とは異なる可能性がある。

©厚生労働省, 2005. All rights reserved.

## トリアファモン

諮問理由	化学構造	作用機序	用途	評価資料
インポートト レランス設定	スルホンアニリド 系	分枝鎖アミノ酸の生合 成を行うアセト乳酸合 成酵素 (ALS) の阻害	除草剤	試験成績報告書 抄録

### 【試験成績の概要】

#### 1. 動物体内運命試験

- ・  $^{14}\text{C}$  で標識したトリアファモンのラットを用いた動物体内運命試験の結果、経口投与後の吸収率は少なくとも低用量で 76.9%、高用量で 79.4%であった。 $C_{\max}$  及び AUC は雌に比べ雄で高かった。投与放射能の大部分は尿中に排泄され、主要代謝物として M5、M6 及び M8 が認められた。
- ・  $^{14}\text{C}$  で標識したトリアファモンの畜産動物体内運命試験の結果、泌乳ヤギでは乳汁及び可食部（肝臓、腎臓、筋肉及び脂肪）に代謝物 M1、M3、M6、M7、M8 及び M11 が 10%TRR を超えて認められた。産卵鶏では、可食部（肝臓、筋肉及び脂肪）に M1、M6、M7 及び M8 が、卵では M1 及び M6 が 10%TRR を超えて認められた。

#### 2. 植物体内運命試験

- ・  $^{14}\text{C}$  で標識したトリアファモンの水稻を用いた植物体内運命試験の結果、茎葉、わら及びもみがらに比べ玄米への残留放射能は僅かであった。茎葉及びわらでは M1 及び M2 が主要代謝物として認められ、玄米中では M1 (18.5～58.3%TRR) 及び M20 (28.5～64.6%TRR) が認められた。

#### 3. 亜急性、慢性毒性及び発がん性試験

- ・ 体重（増加抑制）、肝臓（重量増加、肝細胞肥大等）及び甲状腺（ろ胞細胞肥大、コロイド変化等：ラット）
- ・ ラット発がん性試験において肝細胞腺腫の発生頻度の増加

#### 4. 生殖発生毒性試験

- ・ ラット 2 世代繁殖試験において妊娠期間増加
- ・ 催奇形性は認められなかった。

#### 5. 遺伝毒性試験：試験結果は全て陰性